



2018-2019 年度 藤沢ロータリークラブ週報

2018-2019 年度 RI テーマ



第 2780 地区
ガバナー 脇 洋一郎
第 3 グループガバナー補佐 山口 俊明

■創立 / 昭和 29 年 6 月 3 日
■事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL: 0466-25-4000 FAX: 0466-26-9292 E-mail: info@fujisawa-rotary.com
■例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
■第 65 代 会長 / 大小原 徹 幹事 / 藤田 浩二
■例会場 / 湘南クリスタルホテル TEL: 0466-28-2111

NO. 20 第 3138 例会 2018 年 11 月 28 日 天候 晴れ

ロータリーソング「手に手つないで」
四つのテスト 星谷 けい子 会員

《ゲスト・ビジターの紹介》

ゲストスピーカー：安田 震一 様
(多摩大学グローバルスタディーズ学部学部長)

《会長報告》

- ・四つのテスト、今年度は会員の回り番ということで、会員皆さんは、緊張なさるかと思いますが、それぞれ感じが違いたいへん興味深く思っています。
- ・先週ビジターでお越しくくださった綾瀬春日 RC の中村さん、藤沢 RC の例会が和気藹々としていて、雰囲気がいよといっただき、たいへんうれしく思いました。また、ご自分のクラブの参考にしたと言っただき、歴代の会長が培ってくださった賜物だと思います。
- ・12 月 3 日藤田幹事のご長男が誕生予定です。
- ・2 月 6 日(水)第 3 グループのカラオケ大会を新堀ライブ館で、藤沢 RC 幹事で開催いたします。皆

さんで盛り上げて下さい。

- ・今夜から、棕梨先生とカンボジアに行って参ります。帰国後ご報告をさせていただきます。

《幹事報告》

- ・12 月 12 日の例会で、年次総会を開催致します。ご欠席の方は、委任状の提出をお願いいたします。
- ・12 月 19 日の夜間例会・クリスマス家族会のご案内をお出ししています。ご家族でご出席下さい。
- ・1 月 9 日は、夜間例会・新年会を予定しています。

《委員会報告》

- ・棕梨 会員
カンボジアに今夜から行ってきます。皆さんに募金していただいたお金で、現地の希望するものを購入して持っていくということで、うかがいましたところ、子供たちが整理整頓するための折たためるボックスが欲しいということで、子供たちの人数分これを用意して持っていきます。後半分は、現地で胡椒等を購入して、子ども達の学校や生活

出席報告 ()内は計算に用いた会員数

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
11月14日	45(45)名	25名	20名	55. 56%	2名	27名	60. 00%
11月28日	45(45)名	24名	21名	53. 33%			

で使ってもらえるお金ができるようにしたいと
思います。



皆さん、募金ありがとうございました。
帰って来ましたら、ご報告させていただきます。

・ 広島 地区インターアクト委員

23日の祝日にインターアクト年次大会に、藤田幹事と私、湘南学園から生徒6名と先生の7名で出席いたしました。会場は、平塚学園で12インターアクトクラブのうち11クラブが参加して、湘南学園の生徒から発言があり、活発な意見交換ができたと思います。

《スマイル報告》

大小原 徹 会長

多摩大学安田学部長 本日の卓話楽しみです。
よろしくをお願いします。

本日夜の便で満身そういの棕梨さんについてカンボジア行ってきます。無事に帰って来る予定です。

泉 信子 会員

多摩大学学部長 安田震様ようこそいらっしゃいました。

久しく 私お休み失礼しました。

田中 正明 会員

安田学部長 本日は当クラブへようこそ。

卓話よろしくお願ひ申し上げます。

大野木 加代子 会員

安田先生 ようこそ藤沢ロータリークラブへ。
お忙しいところありがとうございます。

野口 捷代 会員

安田学部長様、本日はようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしております。

《小話 3分間スピーチ》

杉本 繁則 会員



湘南の海というと夏のイメージですが、私は、一年中海を感じながら生活しているため、個人的には、湘南の海は、冬が一番すばらしいと思います。

ひとつは空気が澄んでいること。海越しに見える富士山は、とてもすてきです。二つ目にゴミが少ない。三つ目に海水がきれい。四つ目に冬の湘南の海は温かい。毎年11月になりますと気温と海水温が逆転します。最高気温が15度に対し、相模湾の海水温度は、22～23度です。真冬の気温0度で雪が降っても、海水温は12度以下にはなりません。

冬の海水がきれいというのは、どういう意味かといいますと、夏は、海水温が上がりプランクトンが多く発生します。今年の夏、鎌倉に大量発生した赤潮が赤茶色く映っていたのをテレビの映像で見られた方、いらっしやと思います。また、夜光虫が大量に発生しますと夜、青く光り輝いて見えます。プランクトンが大量になりますと海の透明度が落ち、栄養分が多いので海草も繁殖します。これも透明度に影響が出てきます。また、台風シーズンですので、海の中がかき混ぜられて透明度が落ちます。

一方、冬は海水温が下がり、プランクトンは増えませんが透明度が保たれます。台風シーズンが終わり快晴が多くなりますと河を伝わって流れてくるゴミや土砂が少なくなり、海のゴミが少なくなります。今、

まさにきれいな海が見られますので、ぜひ冬の湘南の海を見にいらしてください。

私がお薦めする湘南の海を見に来る機会が、トンボロ現象の江ノ島です。潮が引きますと陸と島が砂州によって、地続きになることをトンボロ現象といいます。他にも伊豆堂ヶ島、小豆島、フランスのモン・サン・ミッシェルなどがそうです。月に2回、見るチャンスがあります。大潮の潮位が20センチ以下の時、ほとんどの確立で、トンボロ現象を見ることができます。ご都合が合えば、冬の湘南の海とトンボロ現象の江ノ島を見に行ってください。

《会長報告の追加》

- ・青少年交換学生に応募して下さった湘南学園高校1年の龍野さんより、お礼状をいただきました。今回は残念な結果となってしまいましたが、来年もう一度チャレンジしたいとのことで、頑張っ
- て欲しいと思います。
- もう1件、藤沢珠算教育振興会より、競技会コンクール協賛へのお礼状と大会報告が参りました。

《卓話》

『藤沢魅力』の再発見

多摩大学グローバルスタディーズ学部
学部長 安田 震一様

(紹介者：大野木 会員)



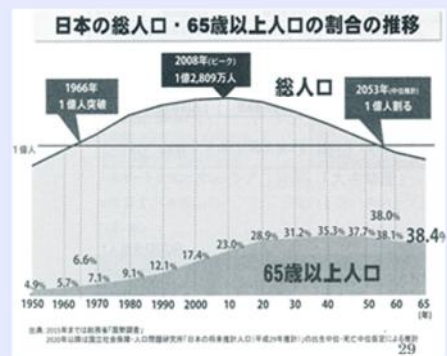
2010年に多摩大学寺島実郎学長と出会い、2012年から学部長を任されています。藤沢には、いろいろな意味で関係を持っています。もしかしたら、1946年3月1日、父親が連合軍の一員として、藤沢、茅ヶ崎あた

りに上陸していたかもしれません。そうならずによかったと思っています。その代わりに、私は生涯、藤沢の地を盛り上げていくことが、使命となりました。今日は、学部長としてお話をさせていただきます。

「藤沢魅力」の再発見

安田震一
多摩大学グローバルスタディーズ学部
藤沢ロータリークラブ卓話

2018年11月28日(水)



『寺島実郎の時代認識』2018年新年号、p.29(左)
1900年:4,000万人 2065年:8,800万人⇒2100年:6,000万人

日本の人口の推移ですが、一億人を突破したのが1966年、オリンピックの後です。当時の高齢者の割合は、6.6%。人口のピークが2008年1億2809万人で、そこから人口は減りつつあります。人口1億人を割ると予測されるのが2048～2053年。その頃、高齢者の割合は38%。同じ人口1億人でも全く違うわけです。2065年には人口8800万人と予測されます。22世紀には6000万人と言われます。20世紀、日本人は人口を3倍にしました。21世紀は人口を半分にした一世紀といえます。高齢者がどのように社会に貢献していくのか、寺島学長の言う「ジェロントロジー宣言」が重要になってきます。それを考えていこうと思います。2008年の人口ピーク時から10年の間に160万人が減っています。福岡市、川崎市、神戸市ほどの都市が無くなっていることと同じことです。今後人口は減るが、年齢はさらに高齢化していくということになります。

2018年6月現在、日本の総人口は1億2,652万人

2008年 日本の人口のピーク 1億2,809万人
→すでに160万人減少(僅か10年で)
つまり、福岡市、神戸市、川崎市級の都市が一つ消えた

→1億2652万人のうち、高齢者と呼ばれる65歳以上は、3,545万人、80歳以上1,102万人以上、100歳以上7万人

☞今後の予想:2030年には、65歳以上は3,716万人、80歳以上は1,569万人、100歳以上は19万人(人口は減り続ける)

☞2050年:65歳以上は3,841万人80歳以上は1,607万人、100歳以上は53万人

高齢者に対して、市町村が手厚い保護ができなくなる時代となります。高齢者自身でいろいろなことをしなければならなくなります。



『寺島実郎の時代認識』2018年秋号、p.32

1950~70年代に建設されたニュータウンで暮らす「団塊の世代」が定年退職し家に戻る時期となりました。ニュータウンは、「独居房」になりいろいろな問題が起こるのではないかと考えられます。

2015~45年の都道府県別の人口増加率推移予想を見ますと、神奈川県は減っています。しかし藤沢市は人口が増えています。なぜ藤沢は人口が増えているのか、

都道府県	増加率	都道府県	増加率	都道府県	増加率	都道府県	増加率
北海道	-16.3%	宮城県	-18.1%	長野県	-23.1%	鹿児島県	-26.9%
青森県	0.7%	岩手県	-18.1%	大分県	-23.1%	山梨県	-28.2%
秋田県	-0.4%	宮城県	-19.2%	富山県	-23.2%	福島県	-28.6%
茨城県	-7.8%	千葉県	-20.3%	東京都	-23.4%	高知県	-28.7%
群馬県	-8.9%	埼玉県	-20.5%	岐阜県	-23.4%	徳島県	-29.2%
埼玉県	-10.2%	千葉県	-20.5%	静岡県	-23.4%	香川県	-29.2%
東京都	-10.6%	東京都	-20.5%	愛知県	-23.8%	愛媛県	-30.9%
神奈川県	-10.7%	東京都	-21.0%	宮城県	-25.3%	高知県	-31.3%
新潟県	-12.2%	三重県	-21.2%	北海道	-25.6%	高知県	-31.6%
富山県	-14.6%	静岡県	-21.3%	山形県	-26.3%	山形県	-31.6%
石川県	-15.7%	東京都	-21.8%	山口県	-26.3%	香川県	-37.0%
福井県	-17.0%	東京都	-21.9%	徳島県	-26.8%	徳島県	-41.2%
山梨県	-17.9%	宮城県	-22.5%	愛媛県	-26.9%		

『寺島実郎の時代認識』2018年秋号、p.32

いろいろな要素をひとつずつ拾い上げ、繋いで行くというのが、寺島学長と私の考えです。

セカンドライフモラトリアムという言葉があります。

セカンドライフモラトリアム

生涯を会社、残業、海外出張に費やした。
退職後友だちがいない、やることがない、独居老人

→65歳以上で仕事800万人以上
事務職:専門・技術職、事務職5人に1人
考えが固まっている
健康上大丈夫かな

→積極的に採用したくない、何を任せればいいのか、プライドが高いので扱い難い、動きが遅い、中々仕事を覚えてくれない!

≪首都圏情報ネタドリ!スペシャル≫ 2018年10月19日

しかし、マインドチェンジが必要です。

※マインドチェンジが重要
貢献できる、何かやろう、参加しよう、
動こうなど前向きに
社会を見つめようとする姿勢

- 勉強をして塾講師
- 海外出張生活が長かったので通訳や翻訳業
- NPOや他の組織に所属して活動
- 海外にて日本語や日本文化を指導

≪首都圏情報ネタドリ!スペシャル≫2018年10月19日放送

これからは、どのような道に進んだらよいかアドバイスや、紹介できることが重要になってきます。

全ての学生に示す資料です。今の学生アメリカなど英語圏頼りと思っていますが、1990年頃はそうでしたが、現在は違います。2005年頃から、中国との貿易額が一番高く、アジア全体としては、52%になっています。

年	米国	中国	韓国	大中華圏	アジア	EU	中東	EU	ロシア	ユーラシア
1990	27.4	3.5	6.4	13.7	30.0	5.9	8.8	7.5	17.0	1.1
1995	25.2	7.4	11.4	20.7	40.6	9.5	13.4	5.2	15.3	0.8
2000	25.0	10.0	13.3	22.8	41.4	11.3	14.7	6.9	14.6	0.6
2001	24.5	11.8	15.1	22.9	41.3	13.1	16.4	7.3	14.5	0.6
2002	23.4	13.5	17.0	24.9	43.2	14.7	18.3	6.9	13.9	0.6
2003	20.5	15.5	19.2	26.9	45.5	17.0	20.6	7.5	14.2	0.7
2004	18.6	16.5	20.1	28.2	47.0	18.1	21.8	7.6	14.2	0.9
2005	17.8	17.0	20.4	28.2	46.6	18.8	22.2	9.4	13.1	1.0
2006	17.4	17.2	20.3	27.8	45.7	19.3	22.4	10.5	12.5	1.1
2007	16.1	17.7	20.8	27.8	45.8	20.4	23.5	10.5	12.8	1.6
2008	13.9	17.4	20.1	26.7	45.0	20.4	23.2	13.0	11.7	1.9
2009	13.5	20.5	23.5	30.7	49.6	23.6	26.6	10.1	11.6	1.1
2010	12.7	20.7	23.7	31.1	51.0	24.5	27.5	9.8	10.5	1.6
2011	11.9	20.6	23.3	29.8	50.2	24.6	27.3	11.1	10.5	1.8
2012	12.8	19.7	22.3	28.3	49.2	23.5	26.1	11.8	9.8	2.0
2013	13.1	20.0	22.6	28.6	48.9	24.0	26.5	12.0	9.7	2.2
2014	13.3	20.5	23.2	29.3	49.1	24.4	27.1	11.8	9.9	2.3
2015	15.1	21.2	24.1	31.0	51.1	24.4	27.3	8.3	10.8	1.6
2016	15.8	21.6	24.5	31.6	51.7	24.5	27.4	6.7	11.9	1.3
2017	15.1	21.7	24.5	31.5	52.0	24.9	27.7	6.9	11.3	1.5
2018(推)	14.7	21.0	23.5	30.5	51.0	24.5	27.0	7.7	11.6	1.5
2019(推)	14.7	21.1	23.5	30.4	50.9	24.5	27.0	8.8	11.0	1.6

『寺島実郎の時代認識』資料集2019年新年号速報版、p.50

つまりライバルは欧米ではなく、中国なのです。現在でも AI、ドローンの技術などは、中国の方が先進的だと取り上げられています。今後そういったことは他の分野にも出てくると考えられます。

日本の貿易相手国のシェア(2010年1~8月累計 速報)

国	輸出	輸入	貿易収支
中国	39.9	18.5	5.8
米国	10.4	18.4	12.2
EU	12.9	24.1	12.3
ASEAN	17.7	33.0	15.2
アジア	29.4	54.8	25.3
アジア(中国を除く)	12.1	22.6	14.1
韓国	14.6	27.3	14.3
台湾	1.6	3.0	6.7
その他	8.1	11.4	6.4
合計	65.9	119.1	3.0
対中国	30.4	17.7	40.4
対米国	53.6	100.0	53.6

※アジア・ダイナミズムについて:
◆参照 P.29-30

※参考
経済産業省発表(19年10月1日現在)

年	2010	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
輸出	12	23	61	112	112	120	135	142	155		
輸入	49	48	57	44	50	49	51	52	54		

『寺島実郎の時代認識』資料集2019年新年号速報版、p.50

寺島学長の資料によると、GDP の推移でも 2010 年には中国は日本を抜き、東京オリンピック開催の 2020 年には、三倍の差がつくと予測されています。このように数字で見せられますと、今後指導方法を変えていかないといけないと考えます。

大学ができること

藤沢市と昆明市の姉妹都市提携を促進するためのお手伝い

- ① 藤沢市と昆明市との提携
 - 「海」と「山」をテーマにした観光の促進
 - 食・農・スポーツでの交流
 - 観光インバウンドの促進
- ② 地域イベントに学生を派遣する・参加してもらう
 - 年齢を超えた交流
 - 学生は様々な分野における経験者から学ぶ
 - 次世代が育つ
- ③ 中国語スピーチコンテスト

既に藤沢市と昆明市は、姉妹都市です。多摩大学としては、それをぜひとも促進していきたいと考えています。姉妹都市提携が、実際に動いていることが藤沢を活性化し、それを多摩大学がお手伝いしたいと思っています。

実際に学生を昆明に連れて行きました。上海空港で乗り換えたのですが、まず空港の大きさに学生が戸惑いました。昆明に到着しますと、昆明の空港の大きさにも戸惑いました。中国の大きさを実感したわけです。空港のターミナル内には、一人用のカラオケボックスがあります。日本の空港にはありません。日本発祥のカラオケのはずが、先を越されているのです。



昆明には、藤沢友誼館という施設があります。そこで昆明と藤沢の親交を知ることになります。現地の日本語スピーチコンテスト優勝、準優勝の方と日本語で交流を持ちました。学生は、藤沢市と多摩大学の関係、2020年藤沢市がオリンピックのセーリング会場であることへの取組み、他日本の観光地などテーマを決めてプレゼンしました。



学生数 26,000 名の雲南民族大学と多摩大学グローバルスタディーズ学部 650 名の提携ができるのは、藤沢市のお蔭です。西田君という留学生を一人派遣しております。日本語を教えたり、授業で生け花を披露したり交流を深めています。広大なキャンパスで、非常に頑張ってくれています。雲南大学には、観光科があり、提携の準備をしています。どんどん和が広がり、多くの学生が行き来し、藤沢市と繋がって行きます。画像は、傣族の宴会料理の写真です。学生のレポート全てにふれられていました。食材に昆虫があり、見た目はグロテスクなのですが、食べてみると以外においしいと書かれていました。百聞は一見にしかずで、実際に行ってみる事のインパクトを実感したのです。もう一点、学生を驚かせたのは、キャッシュレスです。

携帯口座から支払うよう言われます。学生たちは持っていませんので仕方なく、現金で支払いし、遅れていることを実感しました。自分たちの考えていたこととは全く違っていただけを知ります。これが学びです。



傣族の宴会料理

雲南省には、世界遺産が5つあります。その中のひとつ、石林を見学に行きました。それを次にどのように学びとして追求するかということが課題となりました。大学の海外研修を短期ですが、2年間続けました。実際現地を見ることから、もうひとつレベルアップし、世界遺産検定に繋がりました。

多摩大学グローバルスタディーズ学部は小さな組織ですが、できるだけいろいろなことを藤沢市のためにやらせていただいています。今後ともよろしくお願いいたします。



お父様が関わっていらした 1946 年 3 月 1 日実行されなかった、コロネット作戦について。

もしかしたら、父親が来ていたかもしれない地である藤沢を 2 代目として守り、活性化していくことが使命だとお話下さいました。



大野木会員より、安田先生の華麗なる、まさにグローバルな経歴をご紹介いただきました。



本日のお料理